

女性人材の管理職及び経営幹部登用に係る 研修等事業【広島県】

個別事業費	9,741 千円
交付金額	4,827 千円

地域の実情と課題

- ・ 少子高齢化の進行により、生産年齢人口が減少しており、地域経済の活力低下や県内中小企業における中長期的な人材不足が懸念されている。
- ・ 県が目指す「女性活躍」の方向性は、県内企業が女性活躍を経営課題として取り組み、ダイバーシティ&インクルージョンを活かしたイノベーションや付加価値向上、人材確保など経営メリットを享受することであるが、KPIである「県内事業所における指導的立場に占める女性の割合」（R7目標：25%）は、依然として横ばい状態となっている。（H27実績：19.4%→R5実績：19.6%）

目的・目標

- 【目的】企業における女性活躍の取組ステージを設定し、各ステージの企業に対して効果的な研修を実施することで、女性活躍を促進する。
- 【目標】括弧内は実績
 - ・ 女性人材向け研修参加者数 計180名(211名)
 - ・ 社外交流ネットワーク参加者数 30名(28名)

事業の特徴

- ・ 県内企業で働く女性従業員に対し、自身のキャリア意識や組織内での行動力を向上させることを目的とした研修を実施した。また、研修で学んだことを企業経営者及び人事労務担当者等に発表し、意見交換をすることで組織を挙げた女性人材の管理職登用の機運を醸成することを目的とした、合同交流会を開催した。
- ・ 県内企業の幹部候補者の女性管理職を対象に、異業種も含めた社外の幹部候補者とのネットワークを構築し、社外メンターと交流することで幅広い知見を深めることにより、将来の幹部登用にに向けた機運醸成を図った。

連携団体

- 「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」
官民が連携して発足した組織である同会議の構成団体が運営するHP等を通じて広く周知していくとともに、女性活躍やワークライフバランスに係るセミナー・講座等を通じて、収集した事例等を企業や働く女性に対して発信する。

事業の効果

- ・ 女性人材向け研修では定員180名だったところ、定員を大幅に超える211名が参加したことで、女性人材の「管理職昇進」や「スキル習得」の意欲などが高いことが分かり、女性の管理職昇進・登用にに向けた研修について、高いニーズがあることが分かった。
- ・ 社外交流ネットワークでは、自分が目指す姿（理想のリーダー像）が明確であると回答した割合が10%以上向上し、将来の幹部登用にに向けた機運醸成に一定程度の成果があったと考える。

今後の課題

- ・ 女性人材に向けては引き続き「知識やスキル」を身につける機会を提供するとともに、社外でネットワークを築ける機会を提供し、「昇進に対する意欲や自信」を身につけられるよう、支援を続けていく必要がある。
- ・ 指導的立場に占める女性の割合は近年、20%前後で推移し伸び悩んでおり、女性が意欲と適性に応じてその力を発揮できる環境の整備に向け、企業等における女性のキャリア形成・人材育成の取組を支援していく必要がある。伸び悩んでいる最大の原因は大企業の役員及び管理職の女性比率が極端に少ないことであり、KPIの達成に向けて、大企業へのアプローチを強化する必要がある。

